

山形県感染症発生情報

第14週(平成22年4月5日～平成22年4月11日)

疾患名	報告数	増減	特記事項
(インフルエンザ定点 48)			
インフルエンザ	5	▽	
(小児科定点 30)			
RSウイルス感染症	11	△	
咽頭結膜熱	7		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	94	▽	多発中
感染性胃腸炎	300	▽	多発中
水痘	34	▽	
手足口病	29	▽	
伝染性紅斑	24	▲	
突発性発しん	24	△	
百日咳	0		
ヘルパンギーナ	1	△	
流行性耳下腺炎	71	△	多発中
(眼科定点 8)			
急性出血性結膜炎	0		
流行性角結膜炎	3	▽	
(基幹定点 10)			
クラミジア肺炎	0		
細菌性髄膜炎	0		
マイコプラズマ肺炎	0		
無菌性髄膜炎	0		

(▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少、多発中:報告数50名以上)

疾患名	報告数			累積報告数 (*平成22年1月～)
	第14週	1週前	2週前	
2類感染症				
結核	3	3	3	41
3類感染症				
コレラ	0	0	0	0
細菌性赤痢	0	0	0	0
腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	8
パラチフス	0	0	0	0
4.5類感染症				
E型肝炎	0	0	0	0
A型肝炎	0	0	0	0
オウム病	0	0	0	0
つつが虫病	0	0	0	0
ライム病	0	0	0	0
レジオネラ症	0	0	0	1
アメーバ赤痢	0	0	0	2
ウイルス性肝炎	0	0	0	0
急性脳炎	0	0	0	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0
後天性免疫不全症候群	0	0	0	0
ジアルジア症	0	0	0	0
髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0
梅毒	0	0	0	0
破傷風	0	0	0	1
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1
風しん	0	0	0	0
麻しん	1	0	0	1

- 1 本県のインフルエンザ定点当たり報告数は0.10人で沈静化している。迅速キットによる陽性例は、全てA型であった。衛生研究所のウイルス分離結果によると、4月13日現在、型別は新型(A/H1N1)のみ検出されており、季節性は検出されていない。
- 2 感染性胃腸炎は、ピーク時(第5週:546人)から4割以上減少している。しかし、集団感染事例が発生していることから警戒が必要である。
- 3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、庄内地区で定点当たり報告数が多い(鶴岡市:9.8人)。
- 4 流行性耳下腺炎が、依然として庄内地区で流行している。また、米沢市でも増加している(定点当たり報告数 鶴岡市:6.8人、酒田市:5.7人、米沢市:5.5人)
- 5 伝染性紅斑が、庄内地区で増加しており、定点当たり報告数(2.9人)が警報基準値(2.0人)を超えている。特に、鶴岡市の定点当たり報告数が多い(鶴岡市:5.5人)。
- 6 手足口病が、長井市で流行しており、定点当たり報告数が多い(長井市:10.0人)。
- 7 結核の患者が庄内地区から2名(田川 2)、無症状病原体保有者が村山地区から1名(東南村山)、計3名報告された。
- 8 麻しん患者(修飾麻しん、血清IgM抗体の検出)が、庄内地区から1名報告された(36才、推定感染地域:県内、ワクチン接種歴:1回)。麻しん排除に向け、麻しん全例検査診断をお願いします。

(4月13日現在 山形県衛生研究所)